

景況・経営動向調査結果

平成23年度 第3四半期（10～12月）

目的

長崎市内の景況及び長崎商工会議所会員事業所の経営動向・業況を把握し、地域中小企業の支援策の参考にするとともに、中小企業経営者等に対して経営に必要な情報を提供する

調査対象

本所会員事業所のうち、5産業（建設業・製造業・卸売業・小売業・サービス業）400社（回答227社、回収率56.8%）

業種構成比及び小規模企業等の占める割合は、本所会員事業所の構成比を参考に抽出した

調査期間

平成23年12月1日～28日

調査方法

郵送・E-mailによるアンケート方式

分析方法

各調査項目について、前年同期及び前期と比較して、「良い」と回答した企業等の割合から、「悪い」と回答した企業等の割合を差し引いた指数（BSI：ビジネス・サーベイ・インデックス）をもとに分析を行った

（注）小規模企業等 = 小規模事業者（個人事業主を含む）

製造業その他 従業員20人以下、商業・サービス業 従業員5人以下

（注）各調査項目について、季節調整は行っていない



中小企業振興部 商工振興課

TEL 095-822-0111

業界の景況感

10～12月期実績は、全産業ベースで 40.4〔前回調査比+7.1〕
 1～3月期の見通しは、全産業ベースで 35.0〔今期実績比+5.4〕

業界の景気動向（景況感）の調査結果をみると、製造業・非製造業ともにマイナス幅が縮小し、全産業ベースでは 40.4（前回（9月）調査比+7.1）と2期連続で改善した。

一方1～3月期の見通しは、製造業で6.5ポイントの悪化、非製造業では6.8ポイントの改善が見込まれており、全産業ベースでは 35.0と5.4ポイントの改善見込みとなった。

会員事業所の業況（自社業況の総合判断）

10～12月期実績は、全産業ベースで 36.1〔前回調査比+5.7〕
 1～3月期の見通しは、全産業ベースで 31.1〔今期実績比+5.0〕

売上・生産額	今期実績	33.3 (+1.8)	来期は製造業で悪化、非製造業では改善見込み
利益・採算面	今期実績	37.8 (+6.8)	来期は製造業で悪化、非製造業では改善見込み
資金繰り	今期実績	25.3 (-1.5)	来期は製造業で悪化、非製造業では改善見込み
設備投資	今期実績	27.7 (+1.0)	来期は製造業で悪化、非製造業では改善見込み
雇用状況	今期実績	4.6 (-3.3)	来期は不足感が弱まる見込み
経営上の問題点	全産業ベースで11期連続「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」がトップ		

上記括弧内の数字は前回調査比

産業天気図 自社業況の総合判断：前年同期比

	10～12月期 実績		1～3月期 見通し	
	業況	BSI	業況	BSI
全産業		▲ 36.1		▲ 31.1
製造業		▲ 34.8		▲ 47.9
非製造業		▲ 36.3		▲ 29.1
建設業		▲ 37.5		▲ 37.5
卸売業		▲ 32.0		▲ 33.3
小売業		▲ 49.2		▲ 37.3
サービス業		▲ 24.6		▲ 15.2
小規模企業等		▲ 38.1		▲ 34.3

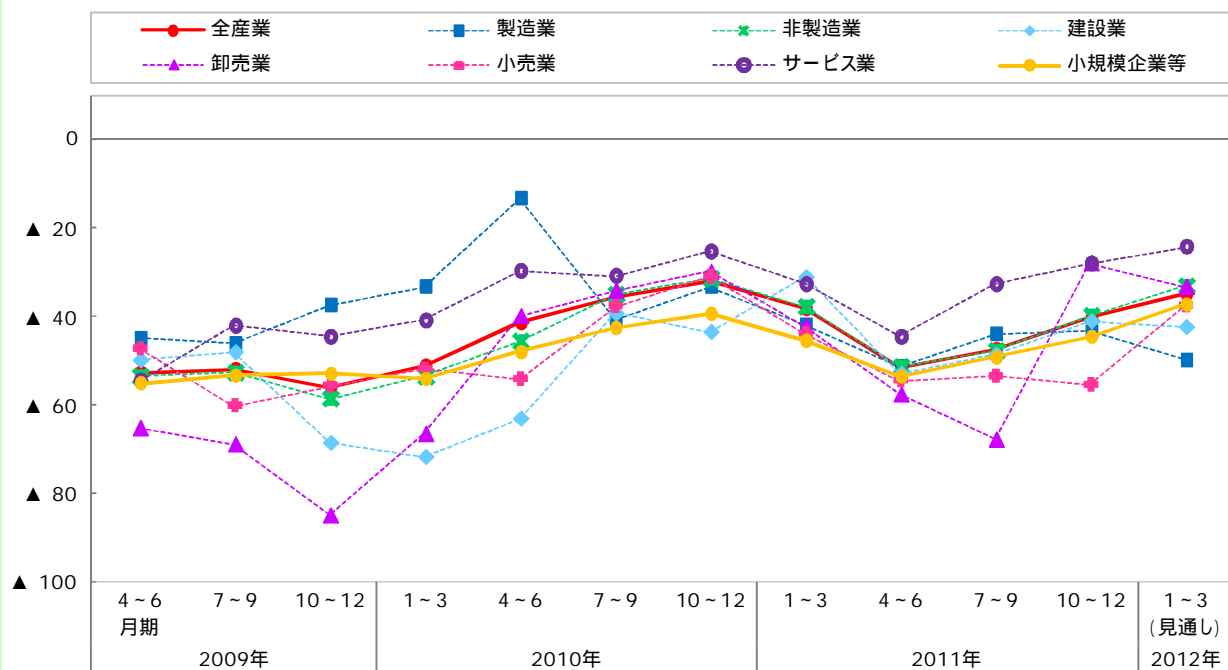
- 凡例 -

天気	業況BSI
	50以上 - 100
	25以上 - 50未満
	0以上 - 25未満
	25以上 - 0未満
	50以上 - 25未満
	100 - 50未満

前年同期（2010年10～12月期）と比較して

2011年10～12月期 実績	2012年1～3月期 見通し
全産業 40.4〔前回調査比+7.1〕	全産業 35.0〔今期実績比+5.4〕
<p>業種別にみると製造業で 43.5（同+0.5）と改善。一方、非製造業では小売業（同-2.0）以外の業種で改善し、とりわけ卸売業（同+40.0）の改善幅が大きく、非製造業全体では 40.0（同+7.9）と改善した。結果、全産業ベースでは2期連続で改善した。</p> <p>また、小規模企業等は 44.7（同+4.7）となり、2期続けて改善した。</p>	<p>製造業で 50.0と今期と比べて6.5ポイントの悪化が見込まれる一方、非製造業では小売業で18.0ポイントもの大幅な改善が見込まれており 33.2と今期実績比6.8ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは5.4ポイントの改善見込みとなった。</p> <p>また、小規模企業等は 37.4と今期と比べて7.3ポイントの改善を見込んでいる。</p>

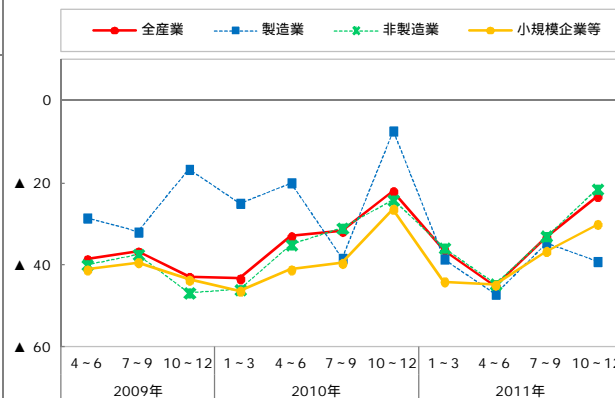
B S I :「上昇」-「低下」



前期（2011年7～9月期）と比較して

2011年10～12月期 実績
全産業 23.4〔前回調査比+9.9〕
<p>業種別にみると製造業は 39.2（同-4.5）と悪化した。一方、非製造業ではサービス業（同+14.7）、卸売業（同+14.3）の大幅改善をはじめ、全ての業種で改善し、非製造業全体では 21.6（同+11.5）と2期連続して改善した。</p> <p>また、小規模企業等は 30.2（同+6.6）となり2期連続で改善した。</p>

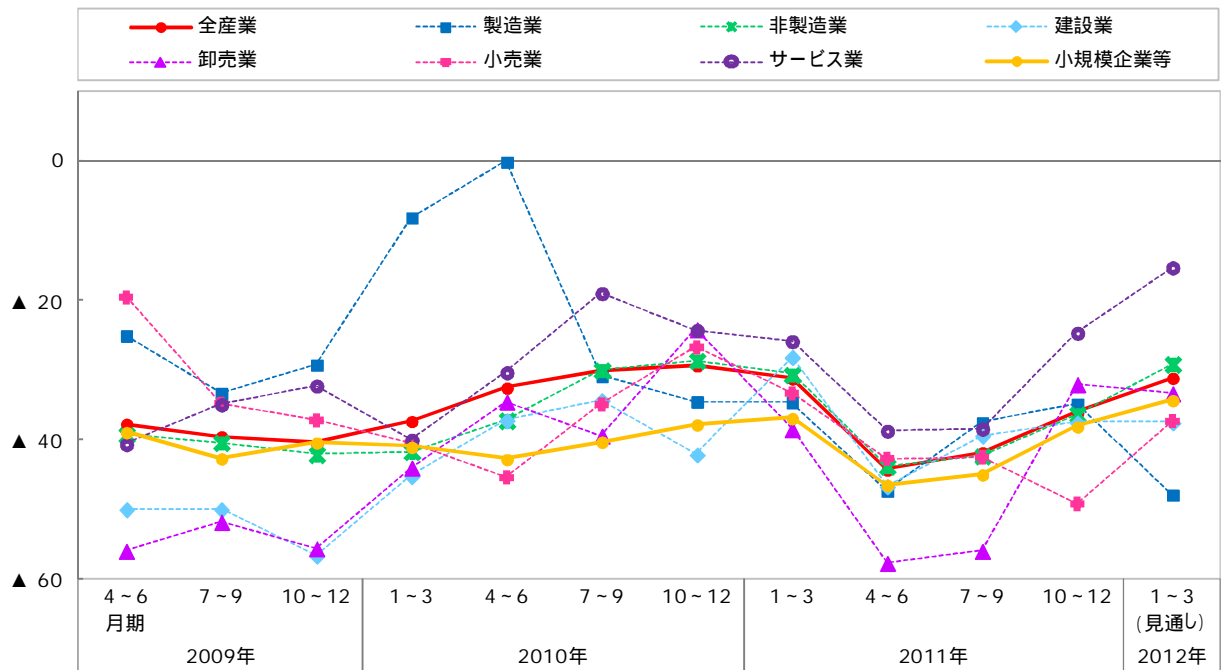
B S I :「上昇」-「低下」



前年同期（2010年10～12月期）と比較して

2011年10～12月期 実績	2012年1～3月期 見通し
全産業 36.1〔前回調査比+5.7〕	全産業 31.1〔今期実績比+5.0〕
業種別にみると製造業は 34.8（同+2.7）と改善した。一方、非製造業では小売業（同-6.7）で悪化したものの、卸売業（同+24.0）の大幅改善などから、36.3（同+6.0）と改善した。結果、全産業ベースでは2期続けてマイナス幅が縮小した。 また、小規模企業等は 38.1（同+6.9）と2期連続で改善した。	製造業は 47.9と今期と比べて13.1ポイントもの大幅な悪化が見込まれる。一方、非製造業では小売業（同+11.9）で大幅な改善が見込まれるなど 29.1と7.2ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは5.0ポイントの改善見込みとなった。 また、小規模企業等は 34.3と今期と比べて3.8ポイントの改善を見込んでいる。

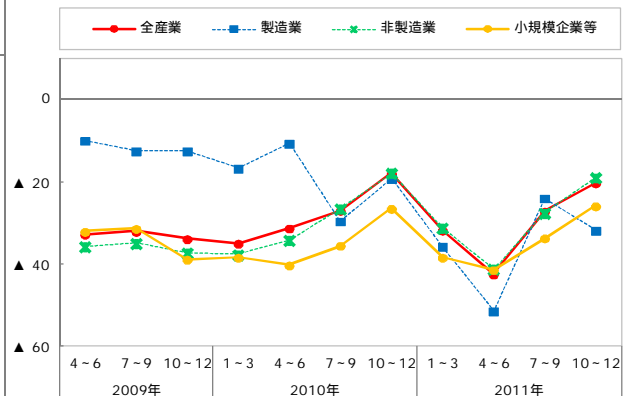
B S I :「上昇」-「低下」



前期（2011年7～9月期）と比較して

2011年10～12月期 実績
全産業 20.3〔前回調査比+6.9〕
業種別にみると製造業は 31.8（同-7.8）と悪化した。一方、非製造業では小売業（同+13.2）やサービス業（同+11.9）の大幅改善もあり、非製造業全体では 19.0（同+8.6）と2期続けてマイナス幅が縮小した。 また、小規模企業等は 25.9（同+7.8）と2期連続で改善した。

B S I :「上昇」-「低下」



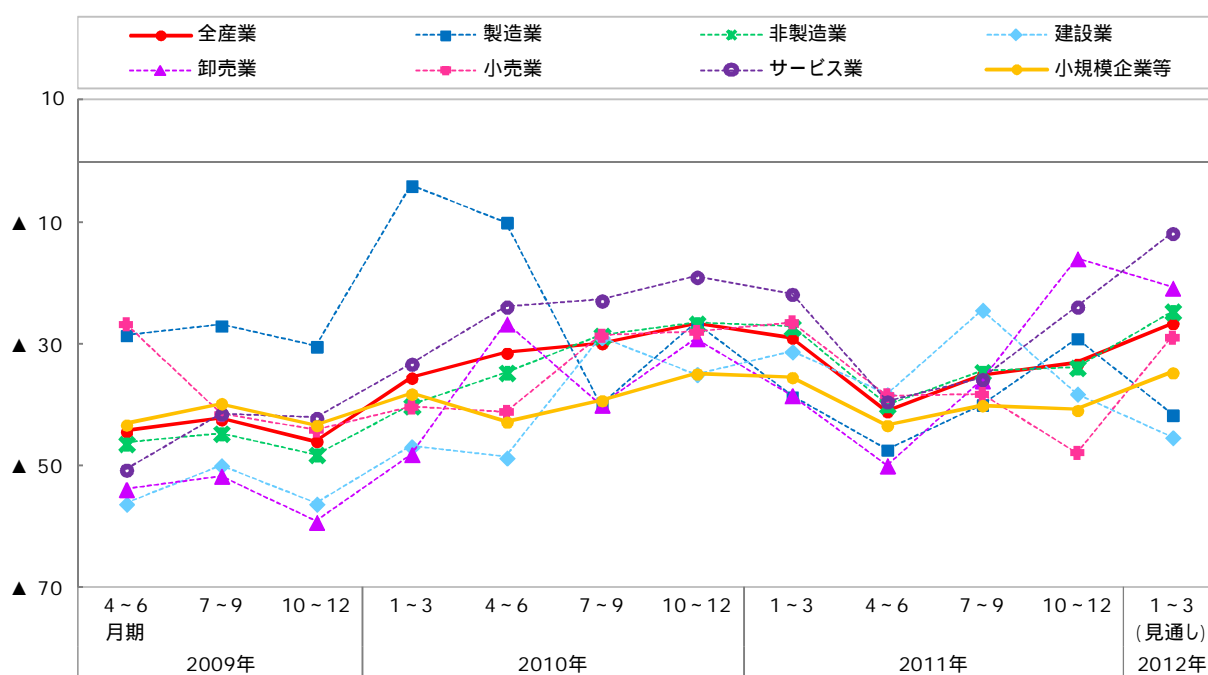
3

売上・生産額

前年同期（2010年10～12月期）と比較して

2011年10～12月期 実績	2012年1～3月期 見通し
全産業 33.3〔前回調査比+1.8〕	全産業 26.6〔今期実績比+6.7〕
業種別にみると製造業は 29.1（同+10.9）と大幅に改善した。一方、非製造業では建設業（同-13.8）で大きく悪化したものの、卸売業（同+20.0）の大幅な改善もあり、非製造業全体では 33.9（同+0.7）とマイナス幅が縮小した。 また、小規模企業等は 40.9（同-0.8）となり、僅かながら悪化した。	製造業で 41.7と今期と比べて12.6ポイントもの大幅な悪化が見込まれる一方、非製造業では小売業（同+18.9）で大幅な改善が見込まれるなど 24.7と9.2ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは6.7ポイントの改善見込みとなった。 また、小規模企業等は 34.7と今期と比べて6.2ポイントの改善を見込んでいる。

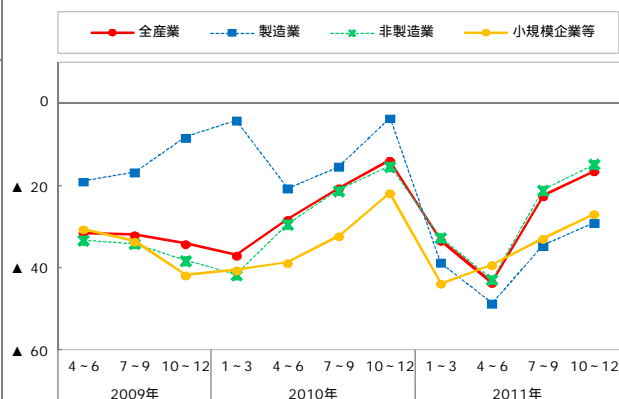
B S I : 「増加」 - 「減少」



前期（2011年7～9月期）と比較して

2011年10～12月期 実績
全産業 16.5〔前回調査比+6.1〕
業種別にみると製造業は 29.1（同+5.5）と改善した。一方、非製造業ではサービス業（同+15.0）の大幅改善などから、 14.8（同+6.3）と大幅に改善し、過去最高値となった。結果、全産業ベースでは2期連続で改善した。 また、小規模企業等は 26.9（同+6.0）と3期連続でマイナス幅が縮小した。

B S I : 「増加」 - 「減少」



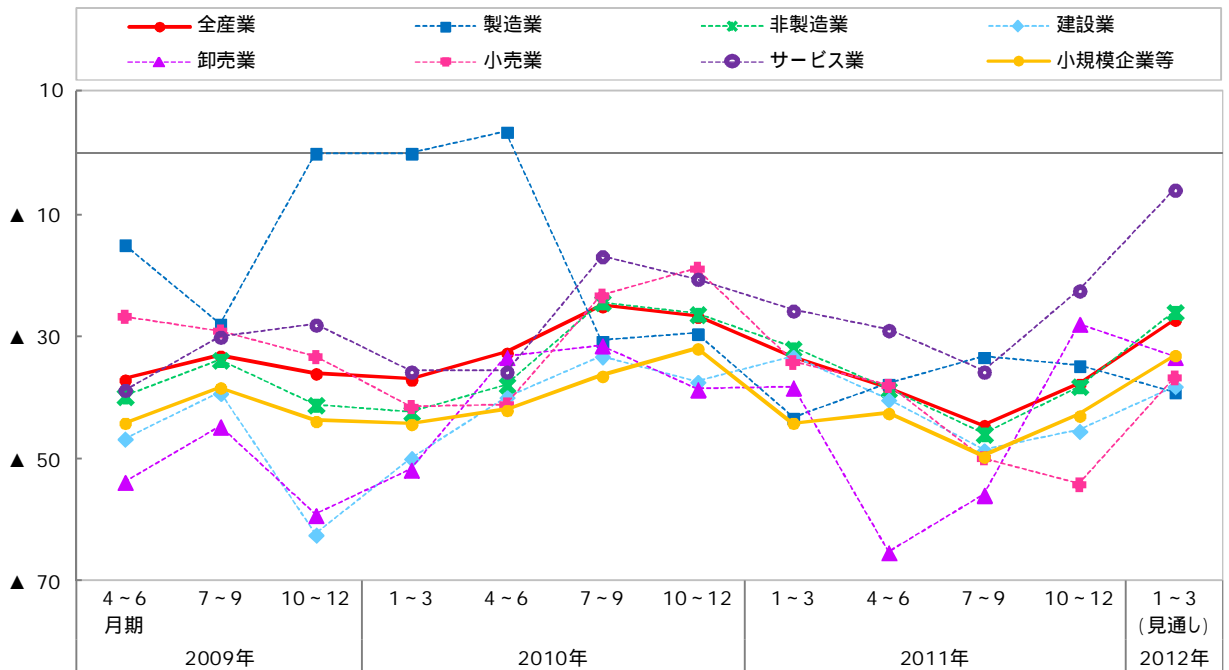
4

利益・採算面

前年同期（2010年10～12月期）と比較して

2011年10～12月期 実績 全産業 37.8 〔前回調査比+6.8〕	2012年1～3月期 見通し 全産業 27.3 〔今期実績比+10.5〕
業種別にみると製造業は 34.8（同-1.4）と3期ぶりに悪化した。一方、非製造業では卸売業（同+28.0）の大幅改善もあり、非製造業全体では 38.2（同+7.8）と改善した。結果、全産業ベースでは5期ぶりにマイナス幅が縮小した。 また、小規模企業等は 43.0（同+6.7）と改善した。	製造業で 39.1と今期と比べて4.3ポイントの悪化が見込まれる一方、非製造業では小売業（同+17.5）サービス業（同+16.5）で大幅な改善が見込まれており、非製造業全体では 26.0と12.2ポイントの改善見込み。 また、小規模企業等は 33.1と今期と比べて9.9ポイントの改善を見込んでいる。

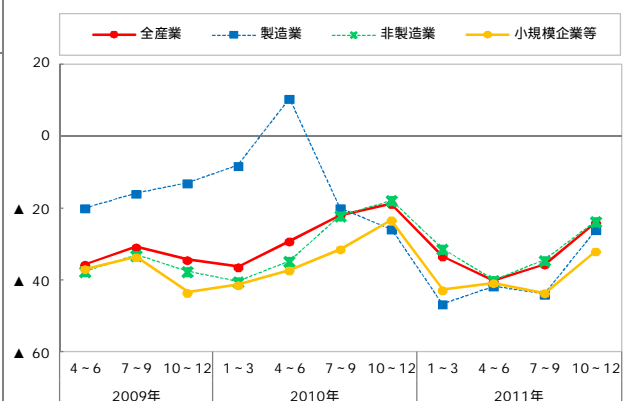
B S I :「好転」-「悪化」



前期（2011年7～9月期）と比較して

2011年10～12月期 実績 全産業 24.0 〔前回調査比+11.6〕
業種別にみると製造業は 26.1（同+17.9）と大幅に改善した。一方、非製造業ではサービス業（同+25.3）の大幅改善もあり、非製造業全体では 23.7（同+10.8）とマイナス幅が縮小した。結果、全産業ベースでは2期連続で改善した。 また、小規模企業等は 32.0（同+11.6）と大幅に改善した。

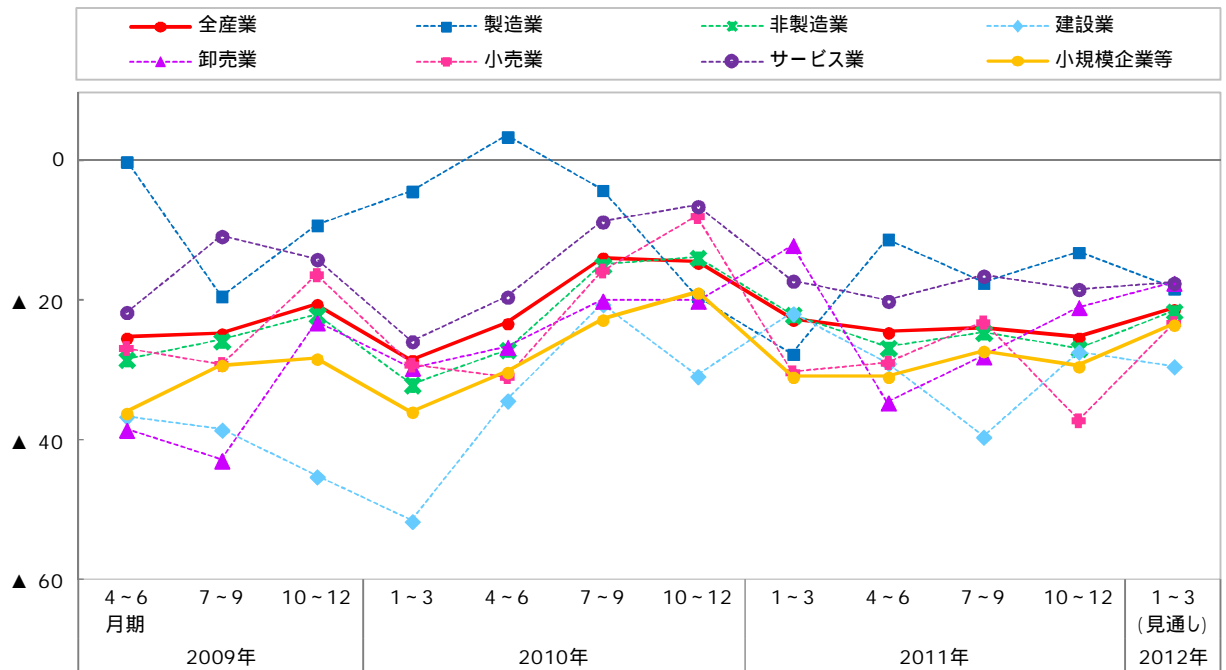
B S I :「好転」-「悪化」



前年同期（2010年10～12月期）と比較して

2011年10～12月期 実績 全産業 25.3 〔前回調査比-1.5〕	2012年1～3月期 見通し 全産業 21.2 〔今期実績比+4.1〕
業種別にみると製造業で 13.0（同+4.4）と改善した。一方、非製造業では建設業（同+12.2）で大幅に改善したものの、小売業（同-14.1）の大幅悪化などから、26.8（同-2.3）と悪化した。結果、全産業ベースでは2期ぶりに悪化した。 また、小規模企業等は 29.4（同-2.2）と悪化した。	製造業は 18.2と今期と比べ5.2ポイントの悪化が見込まれる。一方、非製造業では建設業（同-2.1）で小幅な悪化が見込まれるものの、小売業（同+14.0）の大幅な改善見込みから、非製造業全体では 21.5と5.3ポイントの改善見込み。 また、小規模企業等は 23.4と今期と比べて6.0ポイントの改善を見込んでいる。

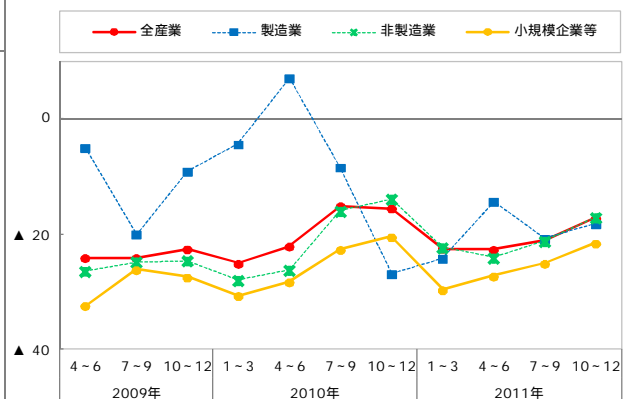
B S I : 「好転」 - 「悪化」



前期（2011年7～9月期）と比較して

2011年10～12月期 実績 全産業 17.2 〔前回調査比+3.9〕
業種別にみると製造業は 18.2（同+2.6）と改善した。一方、非製造業では建設業（同+12.0）の大幅改善もあり、非製造業全体では 17.1（同+4.1）とマイナス幅が縮小した。結果、全産業ベースでは2期連続で改善した。 また、小規模企業等は 21.6（同+3.5）と3期連続でマイナス幅が縮小した。

B S I : 「好転」 - 「悪化」

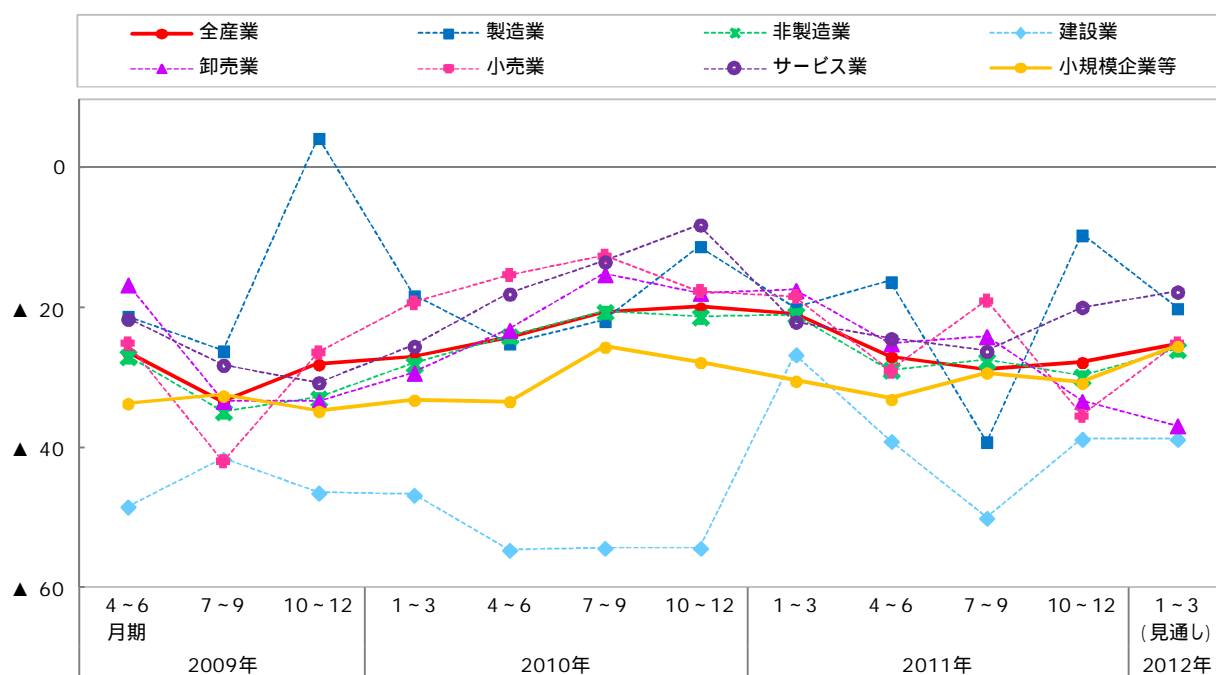


6 設備投資

前年同期（2010年10～12月期）と比較して

2011年10～12月期 実績	2012年1～3月期 見通し
全産業 27.7〔前回調査比+1.0〕	全産業 25.2〔今期実績比+2.5〕
業種別にみると製造業は 9.5（同+29.6）と大きく改善した。一方、非製造業では建設業（同+11.3）で大きく改善したものの、小売業（同 16.5）の大幅な悪化などから非製造業全体では 29.8（同-2.3）と悪化した。 また、小規模企業等は 30.7（同-1.5）となりマイナス幅が拡大した。	製造業で 20.0と今期と比べて10.5ポイントの悪化が見込まれる一方、非製造業では小売業（同+10.4）で大幅な改善が見込まれるなど、非製造業全体では 25.9と3.9ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは2.5ポイントの改善見込み。 また、小規模企業等は 25.4と今期と比べて5.3ポイントの改善を見込んでいる。

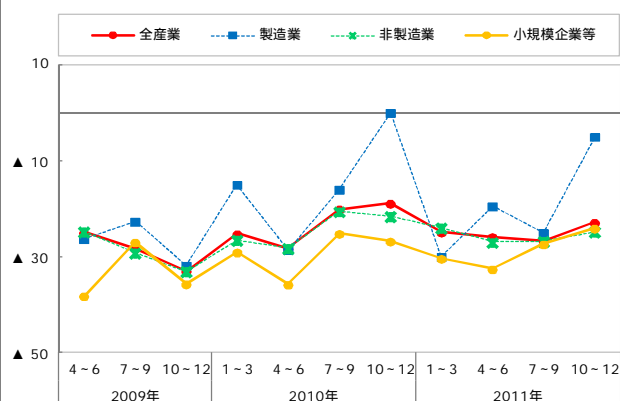
B S I : 「増加」 - 「減少」



前期（2011年7～9月期）と比較して

2011年10～12月期 実績
全産業 22.9〔前回調査比+3.8〕
業種別にみると製造業は 5.0（同+20.0）と大幅に改善した。一方、非製造業では小売業（同-7.5）以外の業種で改善し、とりわけ建設業（同+12.1）の改善幅が大きく、非製造業全体では 24.8（同+2.0）と2期連続でマイナス幅が縮小した。 また、小規模企業等は 24.1（同+3.3）と過去最高値となった。

B S I : 「増加」 - 「減少」

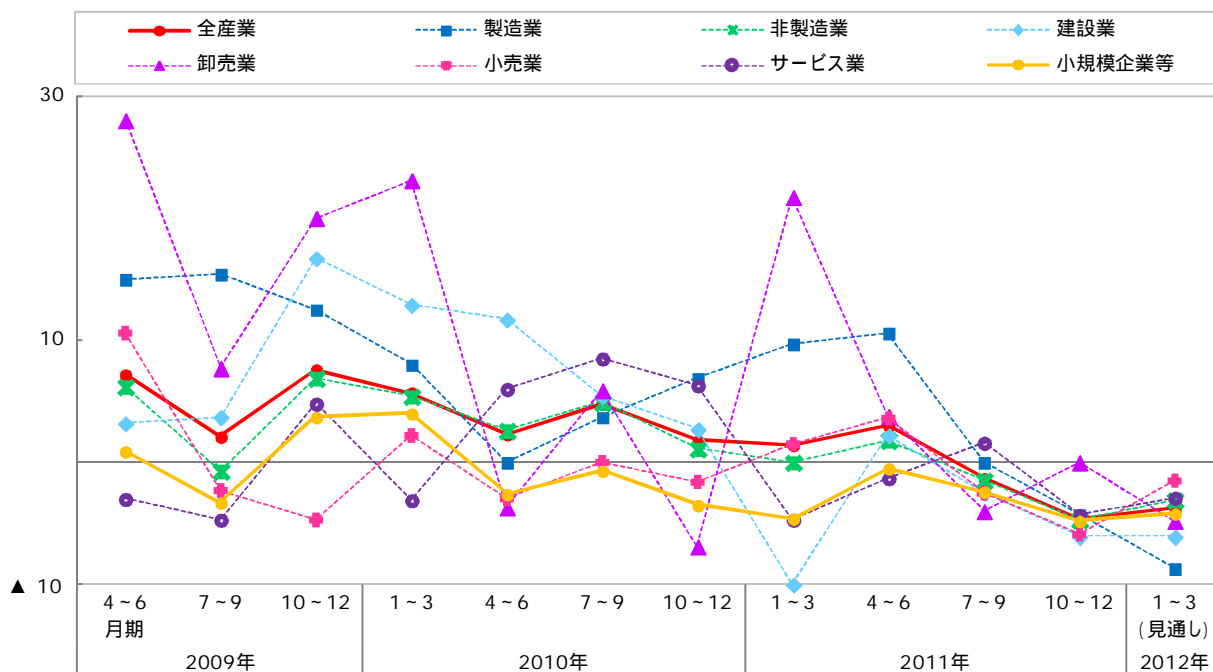


7 雇用状況

前年同期（2010年10～12月期）と比較して

2011年10～12月期 実績	2012年1～3月期 見通し
全産業 4.6〔前回調査比-3.3〕	全産業 3.8〔今期実績比+0.8〕
業種別にみると製造業は「不足」とする割合が増え、4.3とマイナス水準（「不足」超）に転じた。一方、非製造業では卸売業（同+4.0）以外の業種で「不足」とする割合が増え、唯一プラス水準（「過剰」超）であったサービス業もマイナス水準（「不足」超）に転じた。 また、小規模企業等は4.8（同-2.4）と「不足」とする割合が増えた。	製造業で8.7と今期と比べて「不足」とする割合が増える見込み。一方、非製造業では卸売業以外の業種で今期と同水準、あるいは「不足」とする割合が減少するなど、非製造業全体では3.1と「不足」とする割合が減る見込み。 また、小規模企業等では4.2と「不足」とする割合が減る見通し。

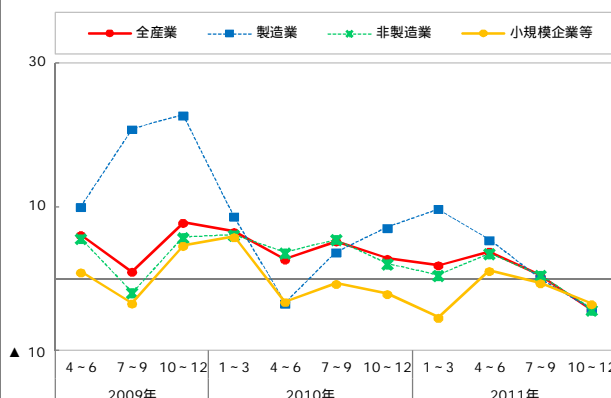
B S I : 「過剰」 - 「不足」



前期（2011年7～9月期）と比較して

2011年10～12月期 実績
全産業 4.3〔前回調査比-4.7〕
業種別にみると製造業で「不足」とする割合が増え、4.3とマイナス水準（「不足」超）に転じた。一方、非製造業では卸売業（同+4.6）でプラス水準（「過剰」超）に転じたが、非製造業全体では4.3とマイナス水準（「不足」超）に転じた。 また、小規模企業等は3.5（同-2.9）と「不足」とする割合が増えた。

B S I : 「過剰」 - 「不足」

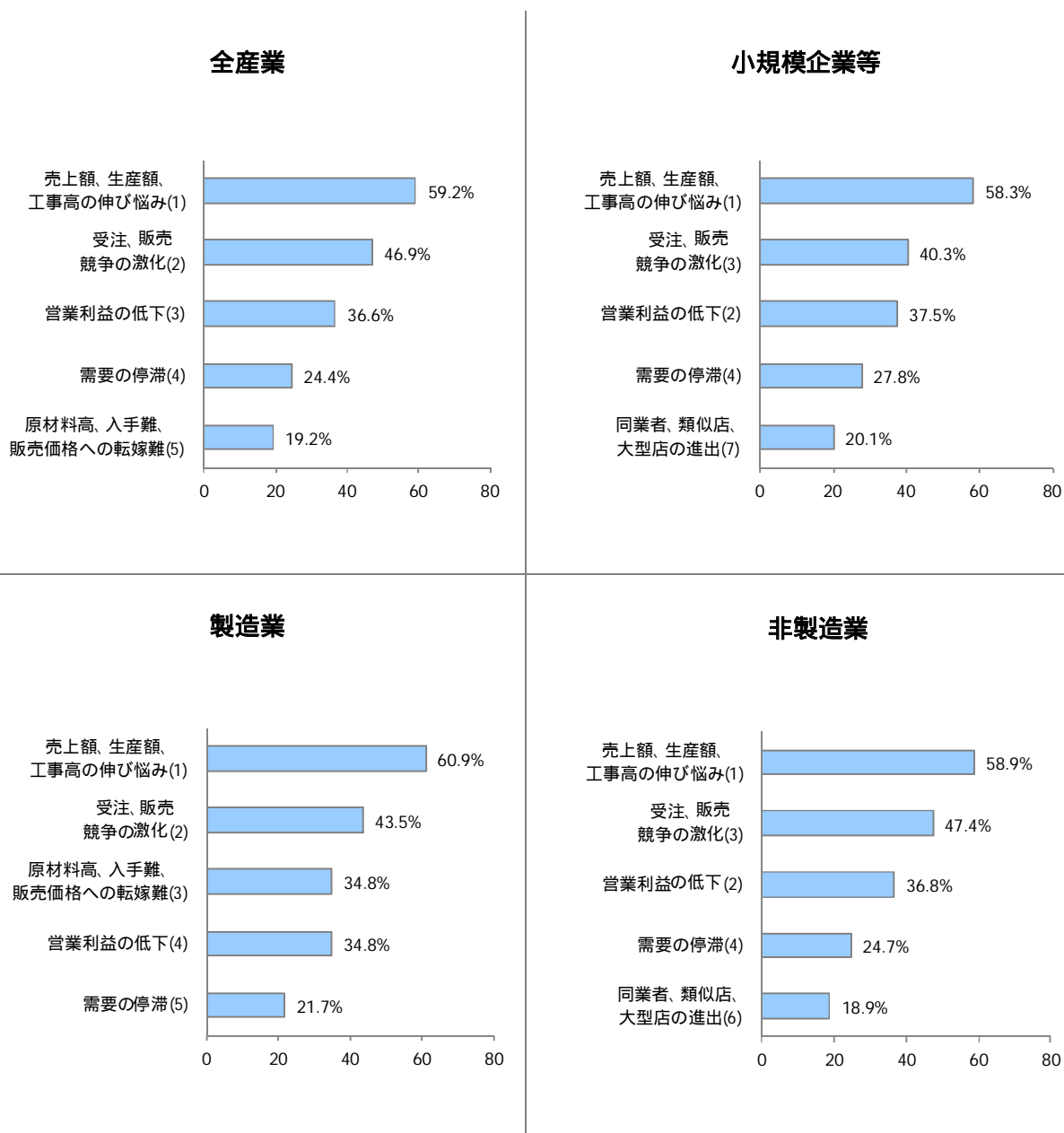


8

経営上の問題点（複数回答）

全産業ベースで見ると、トップは2009年4～6月期の調査開始以来11期連続で「売上額、生産額、工事高の伸び悩み（59.2%）」となった。ただし、卸売業では「受注、販売競争の激化」との同率トップであり、建設業では「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」を抑え「受注、販売競争の激化（78.1%）」がトップとなった。

その他の特徴的な傾向として、「同業者、類似店、大型店の進出」が小規模企業等と非製造業でそれぞれ第5位となった。



各項目の括弧内の数字は前回（9月）調査時の順位

現時点(平成23年12月)での影響

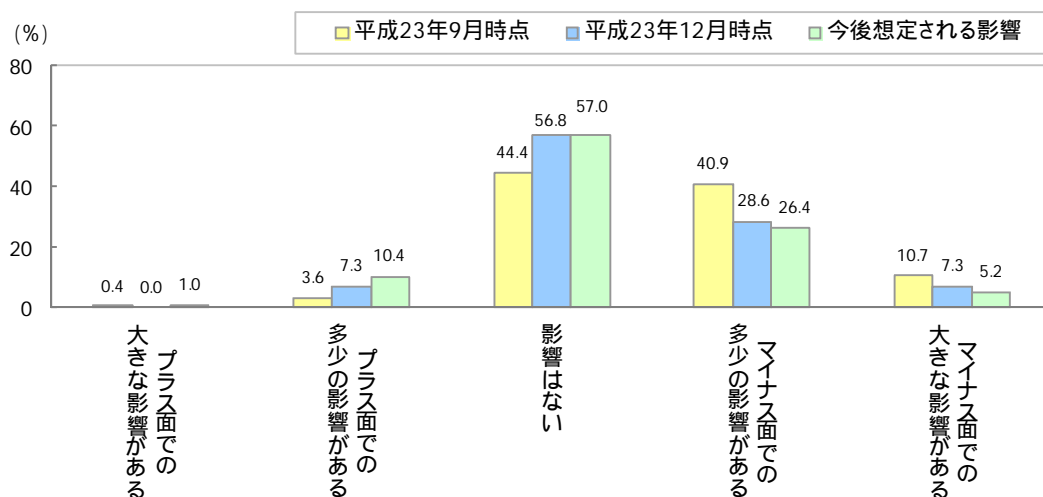
回答があった206社のうち「大きな影響がある」が7.3%(前回調査比-3.8)、「多少影響がある」が35.9%(同-8.5)、「影響はない」が56.8%(同+12.4)で、影響の度合いは前回調査より小さくなった。

影響の中身をみると、商品・資材等の入手難や原材料高など「マイナス面での多少の影響がある」が28.6%と最も多かった。一方で代替需要などから「プラス面での多少の影響がある」との回答もみられた。

今後想定される影響

今後想定される影響としては、「大きな影響がある」が6.2%、「多少影響がある」が36.8%、「影響はない」が57.0%となった。

影響の中身をみると、マイナス面での影響が現時点より幾分弱まり、代替需要や復興が本格化していく中で売上増加が期待されるなどプラス面での影響がやや増える見通し。しかしながら、サービス業以外の業種では3割以上が依然としてマイナス面での影響を想定している。



Q1. 現時点(平成23年12月)での影響

(単位:社、%)

	回答数	大きな影響がある		多少影響がある		影響はない		
		プラス	マイナス	プラス	マイナス			
全産業	206	7.3	0.0	7.3	35.9	7.3	28.6	56.8
製造業	22	9.1	0.0	9.1	31.8	13.6	18.2	59.1
非製造業	184	7.1	0.0	7.1	36.4	6.5	29.9	56.5
建設業	25	8.0	0.0	8.0	40.0	8.0	32.0	52.0
卸売業	22	13.6	0.0	13.6	27.3	9.1	18.2	59.1
小売業	69	7.2	0.0	7.2	40.6	7.2	33.3	52.2
サービス業	68	4.4	0.0	4.4	33.8	4.4	29.4	61.8
小規模企業等	137	5.8	0.0	5.8	32.8	6.6	26.3	61.3

Q2. 今後想定される影響

(単位:社、%)

	回答数	大きな影響がある		多少影響がある		影響はない		
		プラス	マイナス	プラス	マイナス			
全産業	193	6.2	1.0	5.2	36.8	10.4	26.4	57.0
製造業	20	5.0	0.0	5.0	45.0	20.0	25.0	50.0
非製造業	173	6.4	1.2	5.2	35.8	9.2	26.6	57.8
建設業	23	8.7	4.3	4.3	39.1	8.7	30.4	52.2
卸売業	21	23.8	4.8	19.0	38.1	19.0	19.0	38.1
小売業	67	3.0	0.0	3.0	41.8	10.4	31.3	55.2
サービス業	62	3.2	0.0	3.2	27.4	4.8	22.6	69.4
小規模企業等	125	4.8	0.8	4.0	31.2	8.8	22.4	64.0